

第38回建設業経理士検定試験 1級 原価計算

〔第1問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。

問1

工事実行予算とは、各工事の採算性を重視して工事別に
細分化された予算である。①実行予算は、建設現場の作
業管理者も参加した達成可能な目標原価を中心としたも
のでなければならず、その編成段階は、動機付けコント
ロールであり、内部指向コスト・コントロールの出発点
となる。②期間予算を中心に展開される利益計画および
統制の達成を可能にするのは、各工事による個別利益の
積み重ねであるため、利益計画の具体的達成を果たす基
礎となる。③実行予算は、管理責任区分と明確に対応し
たコスト別に編成されるべきであり、個別工事での達成
目標をさらに各セクションに細分化してコントロールす
ることで、責任会計制度を効果的に進める手段となる。

問2

製品やサービスの提供者は、ライフサイクル・コストに
もとづいて購入を決定する賢明なユーザーをひきつけて
、顧客が満足するようなコスト水準の製品やサービスを
提供しなければ、生き残っていけない。そこで、あえて
顧客の側に立ち、顧客から見たライフサイクル・コスト
を測定・評価する。このコストを低減するために、ユー
ザーの使用コストに影響を及ぼす要因を明確にし、計画
・企画段階からこれを仕様に反映させる必要がある。

〔第2問〕

記号 (A~C)

1	2	3	4	5
B	C	A	A	C

〔第3問〕

問1

予定配賦額 円

予算差異 円 記号 (A又はB)

操業度差異 円 記号 (同上)

問2

予定配賦額 円

操業度差異 円 記号 (A又はB)

問3

予定配賦額 円

操業度差異 円 記号 (A又はB)

〔第4問〕

問1

月間営業利益 円

問2

(1)

C製品 個

D製品 個

(2)

月間営業利益 円

〔第5問〕

問1

完成工事原価報告書	
自 20×0年7月1日	
至 20×0年7月31日	
X建設工業株式会社	
(単位：円)	
I. 材料費	1,660,600
II. 労務費	1,312,000
(うち労務外注費	451,000)
III. 外注費	441,000
IV. 経費	756,700
(うち人件費	414,700)
完成工事原価	4,170,300

問2

1,029,050 円

問3

- ① 重機械部門費予算差異 9,200 円 記号(A又はB) A
- ② 重機械部門費操業度差異 10,500 円 記号(同上) B